

《東海から発信！ 新しい健康づくり・地域づくりをはじめよう》

超高齢社会の到来と社会保障費の増大、無縁社会といわれるような家族や地域のサポート力の減弱、日本経済の低迷、そこに追い打ちをかけるように東日本大震災による大きな被害……。健康な暮らし、安全で安心感のある暮らしに対する行政への要望が今ほど高まっているときはありません。

一方、緊急時においても自助・互助の取り組み、指示待ちではない自主的な活動が重要であり、普段からの健康づくり・地域づくり活動がこのような局面にも役立つことを再認識させられます。

公衆衛生の新たな潮流として、「平時の生活習慣病対策と有事の健康危機管理」、「エビデンスに基づく Public Health」が唱えられてからすでに久しく、わが国においても健康日本21の最終評価にむけての作業が始まり、次期計画に向けた準備も進められています。また、特定健診・特定保健指導制度についても3年間の実施状況をもとに、より効果的・効率的な政策への転換について議論がスタートしました。

このような情勢の中で第57回東海公衆衛生学会を担当させていただくことになりました。シンポジウム5演題、口演21演題、示説15演題と、多くの応募をいただきました。この地における公衆衛生活動を丁寧に分析・発表していただき、よりよい保健活動への一里塚となることを期待しているところです。

メインテーマとしては、「東海から発信！ 新しい健康づくり・地域づくりをはじめよう」といたしました。スペシャルトークセッションとして、全庁的な健康づくりの推進を開始した東海市長と市の保健師を交えて、これからの健康なまちづくり、公衆衛生への期待について語り合います。シンポジウムではPDCAを回転させる保健活動をご紹介いただき、ディスカッションを深めます。さらに、エクササイズ体験、ランチョンセミナーを加え、「プラザらしさ」を少しでもアピールさせていただきます。

夏の日、あいち健康プラザで充実した一日をお過ごしいただけるよう、総力挙げて運営にあたります。

行き届かない点多々あるかとは思いますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

第57回東海公衆衛生学会学術大会長

あいち健康の森健康科学総合センター・あいち介護予防支援センター

センター長

津下 一代

目次

挨拶

1 学術大会プログラム	1
2 学術大会に参加される皆様へ	2
3 一般演題(口演・示説)一覧表	7
4 大会長講演	13
5 スペシャルトークセッション	15
6 シンポジウム	17
7 エクササイズ体験	23
7 一般演題(口演)	25
8 一般演題(示説)	47
9 資料	62

- ・第56回東海公衆衛生学会学術大会の報告
- ・東海公衆衛生学会賛助会員
- ・第57回東海公衆衛生学会学術大会協賛団体
- ・東海公衆衛生学会のあゆみ
- ・理事会通信
- ・第57回東海公衆衛生学会サテライト集会

第57回東海公衆衛生学会学術大会プログラム

会 期 平成23年 7月 23日(土) 9:30～16:30
会 場 あいち健康の森健康科学総合センター(知多郡東浦町大字森岡字源吾山1-1)
学 術 大 会 長 津下 一代(あいち健康の森健康科学総合センター長)
メインテーマ 「東海から発信! 新しい健康づくり・地域づくりをはじめよう」
後 援 日本公衆衛生学会、愛知県、(社)愛知県栄養士会、(社)愛知県看護協会
愛知県国民健康保険団体連合会、(財)愛知県健康づくり振興事業団

- 9:00～ 受 付(プラザホール前ホワイエ)
9:30～9:40 開 会 式(プラザホール1・2)
9:40～10:50 一般演題発表
○口演発表
(プラザホール1・2、サイエンスシアター、2階健康学習室2・3)
21 題
○示説発表(プラザホール3) 15 演題
11:00～12:00 大会長講演 (プラザホール1・2)
テーマ:「健康日本21最終評価にむけて」
講 師:津下 一代(大会長)
スペシャルトークセッション
テーマ:「健康なまちづくりを推進するために必要なことは?」
講 師:鈴木 淳雄(東海市長)
後藤 文枝(東海市市民福祉部)
津下 一代(大会長)
12:00～12:50 評議員会 (2階健康学習室3)
13:00～13:20 総 会 (プラザホール1・2)
13:30～15:20 シンポジウム(プラザホール1・2)
テーマ:「健康課題の分析、PDCAを回転させる保健活動とは?」
座 長:尾島俊之(浜松医科大学 教授)
松本一年(愛知県一宮保健所長)
シンポジスト:
塩川 智代(名古屋市守山保健所 保健予防課)
仲田はるえ(株式会社豊田自動織機 健康管理室)
土屋 厚子(静岡県健康福祉部医療健康局 健康増進課)
若尾 典子(三重県健康福祉部健康づくり室)
寺西 愛(岐阜県安八町保健センター)
15:30～16:25 エクササイズ体験(プラザホール1・2)
テーマ:「1エクササイズをLet'sエクササイズ」
講 師:和田 昌樹、野村 恵里(あいち健康の森健康科学総合センター)
16:30 閉 会(次期開催案内)

<学会外事業>

- 12:10～12:50 ランチョンセミナー(プラザホール)
テーマ:「身体活動計を用いた新しい健康づくり」～群馬県中之条町での取り組み～
講 師:青柳 幸利
(東京都健康長寿医療センター研究所老化制御研究チーム・副部長)
16:45～ 第57回東海公衆衛生学会サテライト集会 いきいき東海 in あいち
テーマ:「語ろう! 東北大地震の災害支援を体験して」
会 場:あいち小児保健医療総合センター 地下大会議室

第 57 回東海公衆衛生学会学術大会実行委員会

	氏 名	所 属
会 長	津下 一代	あいち健康の森健康科学総合センター
副会長	吉田 宏	愛知県健康福祉部 健康対策課
	柴田 和顯	愛知県健康福祉部
	松本 一年	愛知県一宮保健所
	若井 建志	名古屋大学予防医学教室
	近藤 良伸	愛知県西尾保健所
	山崎 嘉久	あいち小児保健医療総合センター
	酒井 映子	愛知学院大学心身科学部 健康栄養科
	船橋 香緒里	藤田保健衛生大学医療科学部 看護学科
	塚本 鋭裕	大府市ふれ愛サポートセンター
	村本 あき子	あいち健康の森健康科学総合センター

実行委員会事務局

	氏 名	所 属
事務局長	久間 美智子	あいち健康の森健康科学総合センター
	木戸 美代子	あいち介護予防支援センター
	早瀬 智文	愛知県健康づくり振興事業団 健康支援事業室
	竹内 成美	愛知県健康づくり振興事業団 健康支援事業室

学術大会に参加される皆様へ

○参加者の方へ

- (1) 受付は健康宿泊館1階プラザホール前ホワイエにて、午前9時00分より行います。
- (2) 参加者の方は、受付で参加費をお支払いください。
参加費は、会員：1,000円、非会員：2,000円、学生：500円です。
- (3) 非会員で今回入会される方は、あらかじめ入会手続きを済ませた後、参加費をお支払いください。
- (4) 会場内では参加者用ネームプレートを着用ください。
- (5) 昼食は、健康プラザ内にレストラン(3F知多亭・11F見晴らし食堂)があります。会場周辺には昼食をとることができる店が少ないです。
- (6) 会場駐車場は大変混雑いたしますので、**公共交通機関**をご利用ください。
- (7) あいち健康プラザでは**宿泊施設**をご利用できます。ご利用の際は、あいち健康プラザホームページ「あいち健康の森 プラザホテル」<http://www.aichi-kenko-plaza.com/>をご参照ください。
- (8) 本学術大会は、日本公衆衛生学会認定専門家「地方公衆衛生学会」に申請、登録しておりますので参加者には15ポイント加算されます。また、**健康運動指導士及び健康運動実践指導者登録更新のための講習会**としても認定されております。
- (9) 大府駅西口より会場まで、**8:45及び9:15**にマイクロバス2台用意しますので、ご利用ください。

○座長の方へ

- (1) 総合受付で座長の受付を行います。
担当する**演題発表時間の20分前**までにお済ませてください。
- (2) 各会場において、適宜、進行をお願いします。
演題の発表時間は口演については、1題10分(発表7分、質疑3分)、示説1題8分(6分、質疑2分)を厳守してください。

○口演発表の方へ

- (1) 総合受付で口演発表者の受付を行います。
受付は発表時間の30分前までに済ませてください。
- (2) 発表者席を各会場の前部に設けます。
前演者の発表が始まりましたら、次発表者席への移動をお願いします。
- (3) 進行は座長の指示に従ってください。
発表時間は1題10分(発表7分、質疑3分)です。時間厳守をお願いします。
なお、発表は6分で1鈴、7分で2鈴が鳴ります。
- (4) 追加・訂正資料がある場合は、各自、当日会場までご持参ください。各発表会場で配布できます。

○示説発表の方へ

- (1) 総合受付で示説発表者の受付を行います。
- (2) 受付終了後、**9 時30分までに指定のポスター掲示箇所(縦150cm×横85cm)に各自資料の掲示**をお願いします。(発表ボード左上部に演題番号を掲示します。)資料掲示用のテープ等をご用意いたします。
- (3) 発表をされる際は、座長の指示に従ってください。
発表時間は**1題8分(発表6分、質疑2分)**です。時間厳守をお願いします。
- (4) 掲示物は16:45分までに撤去してください。撤去し終わっていないものについては、事務局で処分させていただきますのでご承知おきください。

○総会参加について

- (1) 東海公衆衛生学会総会は、13:00から開催いたします。
- (2) 会場は、プラザホール1・2にて行います。
- (3) 総会議事につきましては、会員状況、第57回学術大会概要、平成22年度事業報告等を行います。

○評議員の皆様へ

- (1) 評議員会は、12:00から開催いたします。開会の5分前にお集まりください。
- (2) 会場は、2階健康学習室2. 3にて行います。

○ランチョンセミナーの参加について

- (1) 午前9:00より、大会受付横にて、ランチョンセミナーの受付を行います。
- (2) 受付時に整理券をお渡しします。
- (3) 正午からプラザホール前セミナー受付場所にて整理券とお弁当・資料を引き換えます。
- (4) 講演は12:10から12:50です。講演終了後は、プラザホール前ホワイエにて、質疑応答の時間をとります。

あいち健康の森健康科学総合センター(あいち健康プラザ)

案内図



- JR武豊線 尾張森岡駅から約2.5km
- JR東海道線 大府駅からバス約10分
- 名古屋市の中心部より車で約30分
- 知多半島道路、東浦知多インター、大府東海インターより車で約10分



【知多バス時刻のご案内】

大府駅前	あいち健康プラザ
8:00	→ 8:12
8:27	→ 8:39
9:00	→ 9:12

あいち健康プラザ	大府駅前
16:49	→ 16:59
17:29	→ 17:39
18:04	→ 18:14

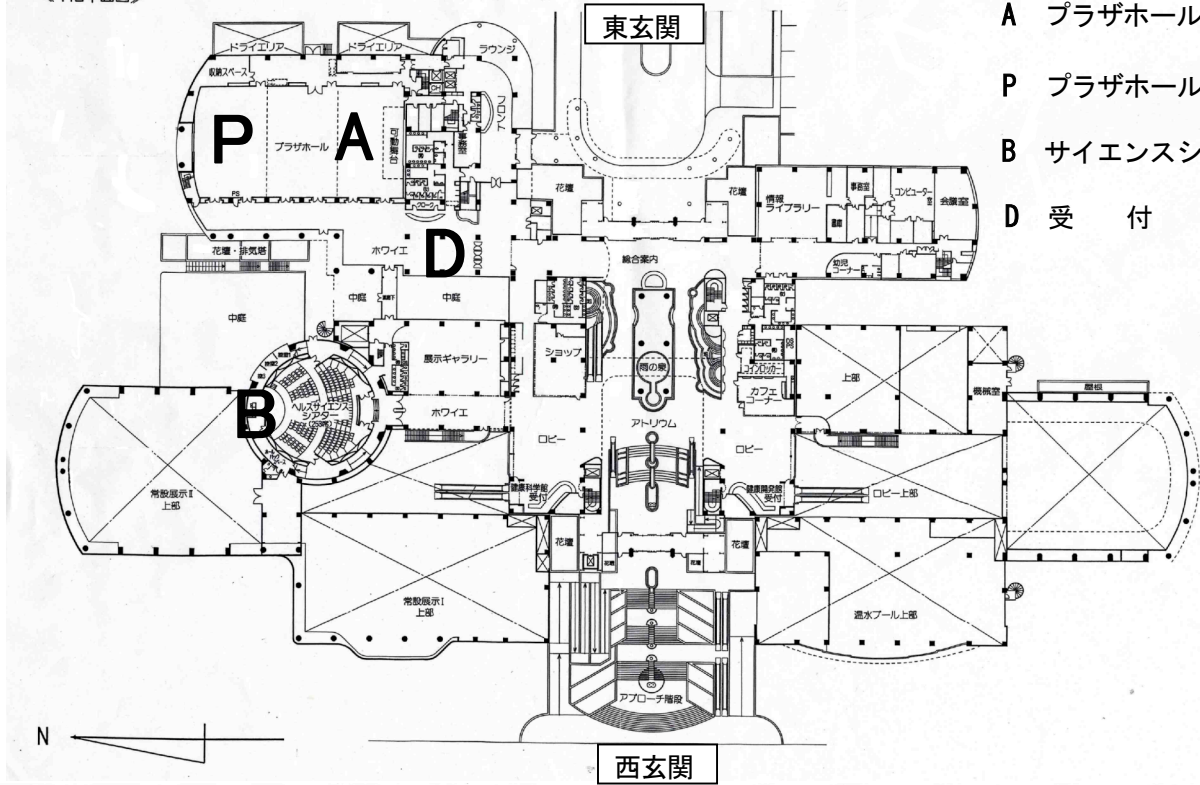
会場別日程一覧表

時間	1階			2階
	A プラザホール1・2	P プラザホール3	B ヘルスサイエンスシアター	C 健康学習室2・3
9:00~	D 受付(プラザホール前ホワイエ)			
9:30~9:40	開会式			
9:40~10:50	口演発表 7題、1題10分	示説発表 16題、1題8分	口演発表 7題、1題10分	口演発表 7題、1題10分
11:00~12:00	特別講演			
12:00~12:40				評議員会
12:10~12:50	ランチョンセミナー			
13:00~13:20	総会			
13:30~15:20	シンポジウム			
15:30~16:25	エクササイズ体験			
16:30	閉会			

あいち健康の森健康科学センター（あいち健康プラザ）

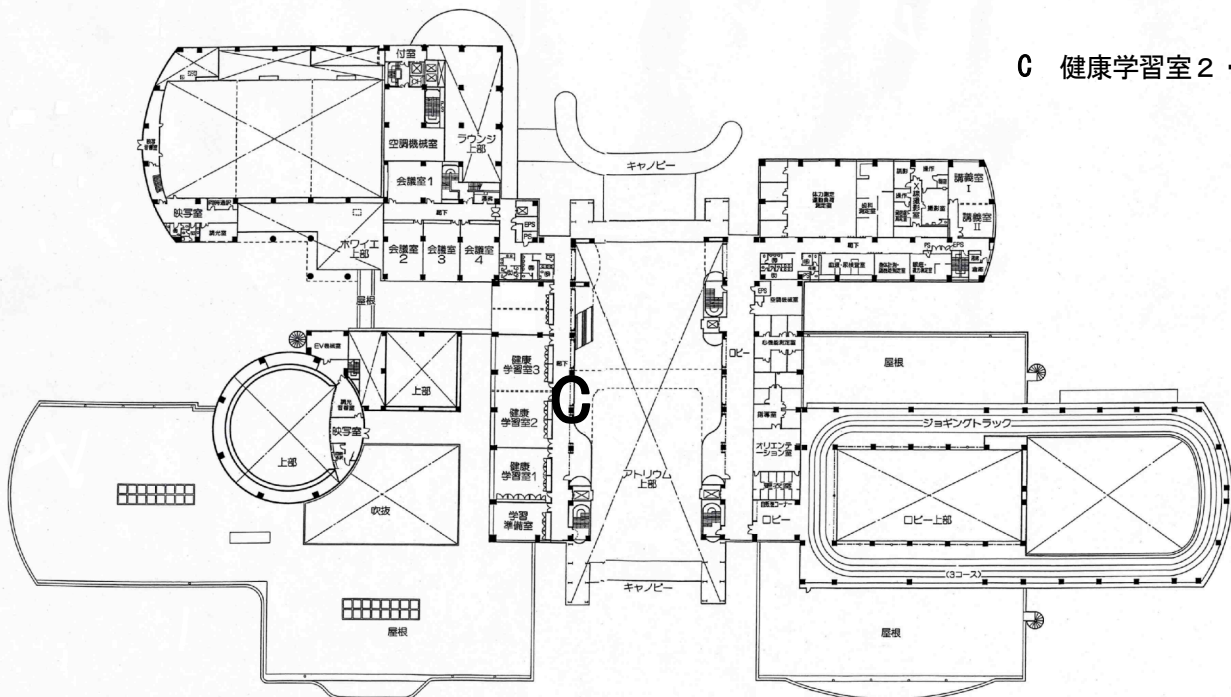
会場図

<1階平面図>



- A プラザホール1・2
- P プラザホール3
- B サイエンスシアター
- D 受付

<2階平面図>



- C 健康学習室2・3

一般演題(口演)

○ プラザホール1・2 9:40～10:20

『メタボリックシンドロームの疫学と介入』

座長： あいち健康の森健康科学総合センター
健康開発部長 村本 あき子

番号	演題名	発表者
A-1-1	健常成人集団での血清脂肪酸構成と低度炎症マーカーとの関連	近藤 高明 名古屋大学医学部 保健学科
A-1-2	健常成人集団における血清脂肪酸構成割合と食習慣および metabolic syndrome(MetS)との関連	田中 哲也 名古屋大学大学院医学系研究科 医療技術学専攻 病態解析学分野
A-1-3	あいち健康の森健康科学総合センターにおける特定保健指導効果の検証	中村 誉 財団法人 愛知県健康づくり振興事業団
A-1-4	壮年期における特定健康診査未受診の関連要因	舟橋 博子 尾張旭市役所

○ プラザホール1・2 10:20～10:50

『ライフステージにあわせたアセスメントと健診』

座長： あいち小児保健医療総合センター
総合診療部長兼保健室長 山崎 嘉久

番号	演題名	発表者
A-2-1	妊娠期における日常生活上の不安・困難な動作に関する質問紙調査	河合 悠夏 知多市健康推進課
A-2-2	ブラジル学校での学校健診の試み ～日本の学校健診モデルの適用の可能性について～	山崎 嘉久 あいち小児保健医療総合センター
A-2-3	アメリカ心臓協会の理想的な栄養摂取指標を用いた我が国中年男女の食生活の現状分析	上村 真由 名古屋大学大学院医学系研究科 国際保健医療学・公衆衛生学

○ ヘルスサイエンスシアター 9:40～10:20

『高齢者』

大府市ふれ愛サポートセンター
座長： 館長 塚本 鋭 裕

番号	演 題 名	発 表 者
B-1-1	高齢者の大腿骨骨折における発生率とリスクの考察	荒井 健介 名古屋市立大学 大学院医学研究科 公衆衛生学分野
B-1-2	高齢者うつスクリーニング・基本チェックリストのよりよい活用に向けて	寺社下 葉子 清須市役所 健康福祉部高齢福祉課
B-1-3	あいち介護予防支援センターの取り組みについて	木戸 美代子 あいち介護予防支援センター
B-1-4	運動器の機能向上プログラム(愛知県版)の開発について ～地域における介護予防(運動器)の推進を目指して～	石川 裕哲 あいち介護予防支援センター

○ ヘルスサイエンスシアター 10:20～10:50

『感染症』

愛知県健康福祉部
座長： 健康対策課長 吉田 宏

番号	演 題 名	発 表 者
B-2-1	半田保健所における高齢者の結核対策にむけての検討	新美 志帆 半田保健所
B-2-2	フィリピンからの輸入例を発端とした麻しん集団感染事例について	土屋 啓三 岡崎市保健所
B-2-3	胃粘膜萎縮と遺伝子多型の交互作用と血清 IL-6 値	中川 弘子 名古屋大学大学院医学系研究科 予防医学

○ 健康学習室 2・3 9:40～10:20

『健康づくり』

座長： 愛知学院大学心身科学部
教授 酒井映子

番号	演題名	発表者
C-1-1	ソーシャルマーケティングの視点を踏まえた保健プログラムの開発(第2報)～運動への期待・イメージと運動実践プログラムの開発～	西田 友子 あいち健康の森健康科学総合センター
C-1-2	継続年数別に見る筋力トレーニングの効果	林 あゆみ 尾張旭市役所 健康福祉部健康課
C-1-3	岡崎市健康づくりリーダーフォローアップ研修会の有用性について	糸魚川 靖子 あいち健康の森健康科学総合センター
C-1-4	子育て中の父母を対象とした禁煙支援を実施して－第2報－	牧野 真帆 名古屋市天白保健所

○ 健康学習室 2・3 10:20～10:50

『予防活動の新たな取り組み』

名古屋大学予防医学教室
座長： 准教授 若井建志

番号	演題名	発表者
C-2-1	難病患者の災害時支援にむけた情報整理について	伊藤 真実 名古屋市緑保健所
C-2-2	血清尿酸値に関与する遺伝子型：ABCG1,SLC22A12,SLC2A9	浜島 信之 名古屋大学大学院医学系研究科 予防医学
C-2-3	大幸医療センターにおける自由診療	田村 高志 名古屋大学大学院医学系研究科 予防医学

一般演題(示説)

○ プラザホール3 9:40～10:30

『母子保健・その他』

藤田保健衛生大学 医療科学部
座長： 准教授 船橋 香緒里

番号	演題名	発表者
P-1-1	愛知県における新生児マススクリーニングの実施状況	中野 光代 財団法人 愛知県健康づくり振興事業団
P-1-2	新しい乳幼児健康診査結果集積における母子保健情報データシステムの運用について	浅井 洋代 あいち小児保健医療総合センター
P-1-3	肢体不自由児の摂食機能と市販増粘剤	藤田 ひとみ 名古屋市立大学医学系研究科 公衆衛生学分野
P-1-4	全国の市町村における十代及び妊娠中の喫煙対策の実施状況	尾島 俊之 浜松医科大学健康社会医学講座
P-1-5	女子大学生の「昼食の選択」に関する意識などについて	中島 正夫 椋山女学園大学 看護学部

○ プラザホール3 9:40～10:30

『疾病対策・高齢者』

愛知県西尾保健所
座長： 所長 近藤 良伸

番号	演題名	発表者
P-2-1	名古屋市における成人の花粉症の有病率:アンケート調査結果	森田 えみ 名古屋大学大学院医学系研究科 予防医学
P-2-2	生物学的製剤時代における関節リウマチ患者をとりまく諸問題	市原 明居子 名古屋市立大学医学部 公衆衛生学分野
P-2-3	クオンティフェロン TB 検査の結果と問題	中村 富美子 財団法人 愛知県健康づくり振興事業団
P-2-4	3カ年のADLの変化からみた高齢者の健康状態(1) ～年齢区分別の特徴を中心に～	大森 正英 東海学院大学 バイオサイエンス研究センター
P-2-5	3カ年のADLの変化からみた高齢者の健康状態(2) ～体力要素別にみた経年変化の特徴～	水野 かがみ 中部学院大学 人間福祉学部

○ プラザホール3 9:40～10:30

『健康なまちづくり』

愛知県健康福祉部

座長： 技 監 柴 田 和 顯

番 号	演 題 名	発 表 者
P-3-1	県保健師による市町村保健福祉活動支援の方法の開発	中土 康代 岐阜県健康福祉部高齢福祉課
P-3-2	特定健康診査と糖尿病関連医療費との関係	小川 陽子 浜松医科大学 医学部医学科
P-3-3	全庁で取り組む健康対策 ー地域医療と健康生活を守るための津島市の取り組みー	土田 ひろみ 津島市役所 健康福祉部保険年金課
P-3-4	浜松市の民間施設における受動喫煙防止対策の実施状況と関連要因	奥山 由美 浜松医科大学医学部医学科
P-3-5	ホームレス脱却に向けてのアセスメント票に関する一考察	日比野 忍 一宮保健所